

千葉市美術館企画展「開館30周年記念 ロックフェラー・コレクション花鳥版画展」 ～葛飾北斎、歌川広重らによる花鳥版画163点がアメリカから里帰り～

千葉市美術館では、企画展「開館30周年記念 ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン所蔵 ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に」を開催しますので、お知らせします。

本展は、アメリカの名門美術大学であるロードアイランド・スクール・オブ・デザイン付属の美術館が所蔵する、アビー・オールドリッチ・ロックフェラーによる花鳥版画のコレクションを紹介するものです。開催に先立ち、1月16日（金）14：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

1 会期

令和8年1月17日（土）～3月1日（日）

休室日 1月19日（月）、26日（月）

2月2日（月）、9日（月）、16日（月）24日（火）

2 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 主催

千葉市美術館

4 ポイント

◆アビー・オールドリッチ・ロックフェラーの華麗な花鳥版画コレクション

アビー・オールドリッチ・ロックフェラー（1874-1948）は、高名なアメリカの大富豪ジョン・ロックフェラー・ジュニアと1901年に結婚し、社交界の名士や慈善家として活動しました。芸術のパトロンとしてもニューヨーク近代美術館（MoMA）の共同設立者としてコレクションの構築と発展に貢献したことが知られています。アビーは1916年から花鳥版画の収集を始め、その数は700点を超えています。

本展では、世界的にも貴重な花鳥版画のコレクションからそのハイライトをご紹介します。

◆北斎、広重ら浮世絵師による可憐な花鳥版画163点が35年ぶりに里帰り

絵画のジャンルの一つである「花鳥画」は花や鳥を描き、吉祥の意味合いをもたせるものが多いため、その美しさも相まって長らく描かれてきた画題です。その花鳥画を版画として出版したものが「花鳥版画」です。江戸時代末期の天保年間に流行し、葛飾北斎が西村屋から出版した花鳥版画が大ヒットし、その後歌川広重も多く手掛けました。

本展ではアビー・オールドリッチ・ロックフェラーの花鳥版画コレクションから厳選した163点が35年ぶりに日本に里帰りし、なかには記念切手の図案にもなった歌川広重の人気作「月に雁」や伊藤若冲による日本初公開の作品も含まれます。花鳥版画の大半は19世紀の海外での浮世絵の流行に伴う海外流出により、国内で花鳥版画の優品を見ることが難しいため、多くの作品を見ることが出来る貴重な機会となります。

◆ロードアイランド・スクール・オブ・デザインと千葉市美術館との縁

ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン（通称 RISD）は、アメリカ合衆国ロードアイランド州プロビデンスにて 1877 年に創立した美術大学です。全米最古の創立校のひとつであり、「美術大学のハーバード」とも呼ばれる名門校です。RISD は美術館を持ち、美術に高い関心を寄せる地元の名士たちが多くの美術品を寄贈したことで、古代から現代に至るまでの 10 万点以上の美術品が収蔵、そのうちの約 4 千点が日本美術です。RISD 美術館と千葉市美術館がそれぞれ所蔵する文政期の「摺物帖」が、もともと対として作られていたということが本展開催のきっかけとなっています。

5 観覧料

一般 1,800 円（1,440 円）、大学生 1,200 円（960 円）

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者 1 人は無料

かつこ内は前売券、市内在住 65 歳以上の方の料金

※前売券は、ローソンチケット（Lコード 35580）、セブンイレブン（セブンチケット）、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて 1 月 16 日（金）まで販売（1 月 17 日（土）以降は当日券販売）

※金・土曜日の 18：00 以降はナイトミュージアム割引により観覧料 2 割引

6 関連イベント

講演会や浮世絵の摺実演、コンサート、担当学芸員によるショートレクチャーなどを開催します。（詳細は別紙参照）

「開館 30 周年記念 ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン所蔵
ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に」披露説明会

1 日時

1 月 16 日（金）14：00 から

2 場所

千葉市美術館 8 階展示室

3 内容

展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明します。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 田部井 栞里
広報担当 磯野 愛

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

メール isono@ccma-net.jp